

科目名称(Course Title)				担当教員 (Instructor)	
血液内分泌・腫瘍学				岡本悦司 / 熊川寿朗	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2 単位	1年次	講義	無	非公開
授業の概要(Course Description)					
<p>血液造血器並びに免疫疾患(ICD10のD分類), 内分泌・栄養代謝疾患(ICD10分類のE)ならびに尿生殖器を除く悪性新生物を扱う。</p> <p>前2者はいずれも内科的疾患であり形態異常を伴わない機能的疾患である, という特徴がある。腫瘍学では, 既に講義済の臓器別知識と関連づけつつ講義する。</p> <p>終了時に毎回小テスト(持ち込み不可)を行う。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液検査を理解し, 貧血や出血傾向を判断できる</li> <li>・主要なホルモンの機能を理解し, その過剰, 欠乏による疾患を理解できる</li> <li>・糖尿病の診断基準と合併症を列挙できる</li> <li>・主要な悪性新生物の種類と, その治療法, 予後を説明できる</li> </ul>					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	甲状腺障害と悪性新生物(348～54頁)				
第 2 回	糖尿病(355～59頁)				
第 3 回	他の糖代謝及び内分泌障害(359～69頁)				
第 4 回	栄養障害と肥満症(370～74頁)				
第 5 回	代謝障害(375～85頁)				
第 6 回	呼吸器の悪性新生物(287～91頁)				
第 7 回	骨関節の悪性新生物(291～92頁)				
第 8 回	皮膚, 軟部組織の悪性新生物(292～93頁)				
第 9 回	脳及び中枢神経の悪性新生物(301～02頁)				
第 10 回	良性新生物(308～13頁)				
第 11 回	血液と血液型(319～27頁)				
第 12 回	貧血(328～36頁)				
第 13 回	血液凝固障害及び出血傾向(337～43頁)				
第 14 回	免疫機構の障害(344～45頁)				
第 15 回	造血組織の悪性新生物, 白血病(303～307頁)				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
血液学(第11～15回)の一部は, 外部講師による集中授業の可能性あり(詳細は追って通知)。					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
毎回の小テスト (50%) 期末テスト (50%)	期末試験を行う(持ち込み不可) 毎回の小テストと期末試験の成績の良い方を最終評価とする。
テキスト (Textbook)	【書名】 診療情報管理 I      【著者】 基礎課程小委員会 【出版社】 日本病院会      【出版年】 2016
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	
備考 (Other Information)	1年生対象の血液内分泌・腫瘍学と2年生対象の臨床医学Eは合同で行う。
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	メールアドレス:okamoto-etsuji@fukuchiyama.ac.jp 火～金は研究室にいますのでいつでも可